

会 議 録

1 会議名

第3回上越市総合計画審議会

2 議題

- (1) 第6次総合計画 後期基本計画（案）について
- (2) 施策目標の見直しについて

3 開催日時

平成30年9月11日（火）午後1時30分から3時30分まで

4 開催場所

上越市役所4階 401会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員：濱祐子、荒川俊治、川崎直哉、小泉美佐子、平澤則子、山縣耕太郎、金子幸二、岡田龍一、荻谷賢一、小林良一、白石雅孝、杉本正彦、高橋信雄、竹内靖彦、中條美奈子、早川英雄、早津正文、藤山作次、松川菜々子、大堀みき、土屋郁夫、中村真二、倉石義行、齊京貴子、武石雄司、宮下孝洋
- ・事務局：塚田企画政策部長、大山企画政策課長、大島副課長、志賀副課長、内山係長、岡田主任、杉田主事

8 発言の内容（要旨）

(1) 開会

会長あいさつ

【川崎直哉会長】

本日はご多忙の中、ご出席を賜り、感謝申し上げます。

この間、市においては、前回会議で審議した「施策の骨子」を基に、計画案をとりまとめたものと伺っている。

本日は、計画案と施策目標の見直しについて説明があるので、委員の皆さまから専門的な視点や日々のご経験から、忌憚のないご意見を賜りたいと考えている。

(2) 議事

ア 議題(1) 第6次総合計画 後期基本計画(案)について

【事務局(志賀副課長)】

資料1～3により説明。

イ 議題(2) 施策目標の見直しについて

【事務局(内山係長)】

資料4により説明。

【藤山作次委員】

「1-2-2-1」の骨子について、大規模災害が多く発生している中で、市民一人ひとりの意識の向上は重要であるが、「的確な判断で行動するための知識の普及」は、もう少し分かりやすい表現のほうが良い。

【事務局(志賀副課長)】

分かりやすい記載については、検討したい。

【白石雅孝委員】

「4-2-1-1」の骨子について、インバウンドに対する情報発信は重要だが、wi-fi やキャッシュレス化など、受け入れ環境の整備も重要である。

【武石雄司委員】

「4-2-1-1」の本文(P.56)について、メイド・イン上越等の特産品もあることから、文化や食等のほかに、地域の魅力として「特産品」の文言も加えてはどうか。

また、「目に見えない物語」の記載について、物語は目に見えないと思われるが、「目に見えない」を記載する必要はあるか。市民が思いを寄せている地域の物語を踏まえ、「地域の魅力が伝わる質の高い情報発信」としたらどうか。

「4-2-1-2」の本文について、高速道路の整備も進んでおり、コンベンション協会としては、高速交通網を活かしたバスツアーの誘客も進めている。立ち寄りだけでなく、「宿泊」も加えて記載してもらえると良い。

【事務局(志賀副課長)】

文言の整理も含めて、部局と整理したい。

【小泉美佐子委員】

「3-1-2」の目標(No.67)について、センター病院の訪問看護のみが目標になっているが、他にも訪問看護を実施している事業所はある。訪問看護は今後増加すると思われるが、それらの事業所の数を含めた目標にすることはできないか。

【事務局（内山係長）】

正確な数値が把握できる目標として、センター病院を設定している。全市的な状況を示す目標を設定できれば良いが、数値の把握が可能かどうかも含め、検討したい。

【竹内靖彦委員】

「1-3-1-2」の本文（P. 22）の「見守り活動の活発化」に関して、小中学校の登下校時の見守り隊が必要と言われているが、結成できていない。教育分野でも記載が必要では。

「1-1-2-3」の本文（P. 16）について、空き家所有者への適切な助言・指導だけでは弱いのでは。倒壊寸前の空き家をどうするか、市の方向性を示す必要はないか。

【事務局（志賀副課長）】

見守り活動に関しては、交通安全対策の施策の中で記載している。教育分野への記載については部局と整理したい。

【事務局（大島副課長）】

空き家対策については、現在各町内を対象に調査を実施している。その調査結果を踏まえ、方向性が出るものと思う。

【小林良一委員】

「当市ならではの観光地域づくり」に関連して、板倉区の光ヶ原高原にあるグリーンパル光原荘は、老朽化により外壁は崩れているが、予算の関係から修繕されていない。訪れた観光客が、また来たいと思えるような整備をしてもらいたい。

【岡田龍一委員】

「6-1-2-1」の本文（P. 72）について、いじめや不登校のほかに、育児放棄やネグレクトの観点も踏まえて記載してはどうか。

【事務局（志賀副課長）】

健康福祉分野の中で、児童虐待等も含めた対応について記載しているため、教育分野で記載するかどうかは全体の中で整理したい。

【藤山作次委員】

農業全般に関して、今後、農産物の消費量は減っていく。産地間競争に生き抜くために海外展開も視野に入れている。農林水産分野に、輸出に関する記載も入れたらどうか。

【事務局（志賀副課長）】

「4-1-3」で、農産物を含めた幅広い海外取引について記載している。農業分野への記載については、部局と協議したい。

【高橋信雄委員】

「4-1-2」の目標（No.95）について、メタンハイドレートの拠点港化には相当の期間を要するため、目標の廃止は妥当と思う。今後、実際に発掘が開始されれば、直江津港は大変有利な港となる。そこにつなげるためにも、商工会議所としては引き続きメタンハイドレートの事業に取り組むが、市としても取組を継続する必要はあると思われる。そのためにも、メタンハイドレートに関する記載は残しておくべき。

【事務局（志賀副課長）】

市としてもメタンハイドレートの取組は重要であることから、県や商工関係団体と連携して取り組むこととしたい。

【山縣耕太郎委員】

「2-2-1-1」の骨子について、太陽光発電と下水道エネルギーが具体例として記載されているが、多様性は重要である。全て記載する必要はないが、文言の検討が必要ではないか。

また、先ほど藤山委員から意見のあった「1-2-2-1」の骨子について、学校での防災教育や、地域における防災ワークショップ等の具体例を挙げると分かりやすいと思う。

【事務局（志賀副課長）】

「2-2-1-1」の骨子では太陽光と下水道エネルギーの記載のみだが、本文の中でバイオマス発電に関しても記載している。

「1-2-2-1」の本文では、ハザードマップを活用した訓練等の具体例を記載している。

【濱祐子副会長】

教育委員会では教育大綱を作成し「0～18歳までの切れ目のない支援」を掲げている。教育分野で「切れ目のない支援」の記載が必要ではないか。

「6-1-2-3」の本文（No.72）について、試行段階ではあるが、小中一貫教育の充実に取り組んでいる。小中一貫教育に関する文言もあると良いのではないか。

【事務局（志賀副課長）】

健康福祉分野の「3-2-3」と「3-3-1」の中で「切れ目のない支援体制」について記載している。教育分野への記載については、小中一貫教育も含めて部局と協議したい。

【大堀みき委員】

「6-1-1」の本文（P.69）について、「全国標準学力テスト」と記載すべきではないか。また、上越カリキュラムに対する説明があったほうが良いのではないか。

【事務局（大山課長）】

学力テストの表記に関しては、他にNRTの表現もあるので、部局と協議したい。

上越カリキュラムについても、補足について検討したい。

【中條美奈子 委員】

「3-2-3」の本文（P.43）について、市では「妊娠期からの切れ目のない支援」を進めているはずである。整合を図って「妊娠期からの…」として記載する必要がある。

【事務局（志賀副課長）】

「3-3-1」で具体的な取組について記載しているが、「妊娠期から」の記載については、部局と協議したい。

【土屋郁夫委員】

まちづくりの人材育成・確保の本文（P.7）に関して、現状と課題の記載の中に「推進する」の記載があるが、現状と課題ではないと思われる。

また、人材育成に関する目標を設定する必要はないか。

【事務局（志賀副課長）】

現状と課題の記載については整理したい。人材育成の目標については、各分野で個々に設定されているため、人材育成の分野では設定していない。

【宮下孝洋委員】

「4-3-1-2」の本文（P.60）について、技能労働者に対する支援とは、具体的にどのような取り組みを考えているのか。

【事務局（志賀副課長）】

具体的な取組については部局と協議する。

【齊京貴子委員】

複数分野に関わる記載は、関係する分野それぞれに記載すれば良いのではないか。

【杉本正彦委員】

計画自体は素晴らしいものだと思うが、難しい言葉が多いため解説があると良い。

【事務局（志賀副課長）】

分かりやすい言葉にするよう心がけるとともに、解説を入れる。

【早川英雄委員】

「4-3-1」の目標（No.111）について、ワーク・ライフ・バランスに配慮した事業所の割合は高くなっているが、事業者側の割合よりも「実際に働いている人の実感」が重要である。

【事務局（志賀副課長）】

他に適当な目標がないか、検討したい。

【土屋郁夫委員】

パブリックコメントの実施について、説明会をビデオで撮って流すなど、市民が触れる機会を増やしてはどうか。

【事務局（志賀副課長）】

広報やホームページ等での周知を予定しているが、ご指摘いただいた方法については、検討したい。

【平澤則子委員】

「市-2-1-1」の本文（P.8）について、下線部分に「女性」が記載されているが、いかにも女性が差別を受けているかのような印象を受けるため、「女性」の記載には整理が必要。ここでは「性別にとらわれず」と記載したほうが良いのでは。

【事務局（志賀副課長）】

多くの方が活躍できるといった意味で記載しているが、全体を通して整理したい。

【中條美奈子委員】

「市-1-2」の目標（No.8）について、管理職に女性を登用している民間企業の割合は46.8%となっており、高いと思われがちだが、1人でも管理職がいれば該当になる。管理職が1人いるだけでは、女性が活躍していると言えないのでは。もっと多くの、普通に働く女性達が活躍していることを表す目標は設定できないか。

【事務局（内山係長）】

多くの女性の活躍を表す目標が設定できないか、再度検討したい。

【土屋郁夫委員】

「市-1-2」の目標（No.7）の項目名がNo.6と同じになっているが、誤りではないか。

【事務局（内山係長）】

誤りであるので、修正したい。

【大堀みき委員】

「6-2-2」の目標（No.137）について、掲げている目標と本文との関連が分からない。目標は部活動に限った人数なのか。部活動に限らないのであれば、項目名を変更してはどうか。

【事務局（志賀副課長）】

数値の集計方法も含めて、部局と整理したい。

【倉石義行委員】

補足だが、全国大会等への出場数は、学校の部活動よりも、地域スポーツクラブや競技団体等のほうが多い。また、北信越大会は中高生だけではなく小学生も含まれている。目標の記載は整理が必要である。

【武石雄司委員】

「4-2-1」の目標（No.101）について、「市民と事業者との連携に対する満足度」なのか、「観光振興の現状に対する満足度」なのかが分かりにくい。設問を変更することができないのであれば、補足説明を入れて「政策に対する評価」なのか「現状に対する評価」なのか、整理が必要ではないか。

【事務局（内山係長）】

市民の声アンケートでは、政策に対する満足度を聞いている。分かりにくいので、補足を入れるなど整理したい。

【川崎直哉会長】

「市-1-2」の目標（No.8）について、「女性の管理職が一定割合以上いる企業数」も目標として考えられる。

【土屋郁夫委員】

市民の声アンケートの対象 5,000 件の抽出は、地区や年齢等は考慮されているか。

【事務局（内山係長）】

地区や年齢、性別ごとの人口割合を考慮して発送している。

【荒川俊治委員】

「4-2-1」の目標（No.102）について、現状値に対して目標値が高くなっているが、どのように算定したのか。

また、様々な分野で「女性」の記載があるが、農業分野に関しては女性も男性も関係ない。女性を過少評価しない文言を考えてもらいたい。

【事務局（大山課長）】

目標に関しては、東日本大震災の影響で一時期観光客が落ち込み、その後の伸び率を基に設定した経緯がある。後期において見直すこととしている。

女性の記載については、男女協働参画アンケートの結果や、家事における女性の負担が大きい現状等を踏まえて記載している。ご理解いただきたい。

(3) 閉会

企画政策部長あいさつ

【塚田企画政策部長】

本日は、委員の皆さまから骨子案に対し、貴重なご意見、ご示唆をいただき感謝申し上げます。

いただいたご意見等は、関係する部局に速やかに伝達し、計画案への反映に努めるとともに、事業に対するご指摘等は、個々の事業の改善につなげたいと考えている。

そして、10月に開催予定の市民説明会において、審議会における協議の状況を含め、計画案の内容を説明させていただく。

次回の第4回審議会においては、パブリックコメントや議会の意見を反映した最終案について、ご審議いただきたい。

(4) その他

【事務局（大島副課長）】

今後のスケジュール等の事務連絡。

9 問合せ先

企画政策部企画政策課企画調整係

TEL：025-526-5111（内線1851、1852）

E-mail：kikaku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。